



## 平成31年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月5日

上場会社名 フロイント産業株式会社  
 コード番号 6312 URL <http://www.freund.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伏島 巖

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 白鳥 則生

TEL 03-6890-0750

四半期報告書提出予定日 平成30年10月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	9,117	6.9	592	44.8	684	37.3	466	36.5
30年2月期第2四半期	9,789	11.7	1,074	56.4	1,091	54.0	734	139.7

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 526百万円 ( 23.8%) 30年2月期第2四半期 691百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	27.60	
30年2月期第2四半期	42.59	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年2月期第2四半期	17,484	12,852	73.5	767.55
30年2月期	19,125	13,242	69.2	767.91

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 12,852百万円 30年2月期 13,242百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期		0.00		20.00	20.00
31年2月期		0.00			
31年2月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	1.0	1,900	3.6	1,900	4.7	1,350	8.6	78.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ(4)四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年2月期2Q	18,400,000 株	30年2月期	18,400,000 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

31年2月期2Q	1,655,478 株	30年2月期	1,155,478 株
----------	-------------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

31年2月期2Q	16,896,696 株	30年2月期2Q	17,244,522 株
----------	--------------	----------	--------------

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	9
(セグメント情報等)	10
3. その他	12
受注及び販売の状況	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や、堅調な雇用・所得環境を背景に、緩やかな回復基調が続きました。

一方で世界経済は、米国の保護主義的な通商政策がエスカレートし、益々混迷の度合いを高め、欧州の政治リスク、中東情勢の不安定化などの地政学上のリスクの顕在化など予断を許さない状況になっております。

当社グループの主要ユーザーであります医薬品業界は、薬価改定やジェネリック医薬品使用促進などの医療費抑制策の強化や、研究開発費の高騰と開発リスクの増大などへの対応を迫られております。

こうした情勢のもと、当社グループは、第7次中期経営計画(2018年2月期～2022年2月期)の2年目を迎え、前期3年間は成長基盤構築の時期と捉え、後期2年間の飛躍期に備える事としております。

当期(2018年3月1日～2019年2月28日)の具体的な課題として、

- ①米国・アジアでの事業強化(機械装置・化成品両面)で、より積極的な海外展開
- ②市場ニーズの強い新製品(連続造粒システム・錠剤印刷機)の本格的な業績への寄与
- ③リチウムイオン電池など新素材に関わる産業用機械ビジネスへの進出
- ④オープンイノベーションをベースとした産学との連携強化
- ⑤技術交流などを通じた人財育成

などに取り組み、将来の業容拡大に向けた経営基盤を整備しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高91億17百万円(前年同期比6.9%減)、営業利益5億92百万円(前年同期比44.8%減)、経常利益6億84百万円(前年同期比37.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億66百万円(前年同期比36.5%減)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### ・機械部門

造粒・コーティング装置を主力とする機械部門においては、前年同期比では減収減益となりましたが、売上高の先行指標となる受注高は、半期ペースで大きく伸長し、四半期毎の受注残高も増加に反転しました。

この結果、売上高は61億45百万円(同14.3%減)、セグメント利益は2億91百万円(同66.5%減)となりました。

#### ・化成品部門

医薬品の経口剤に使用される医薬品添加剤は、国内での大幅な需要増加と、積極的な海外進出により好調であったことにより、売上高、営業利益ともに増加となりました。特に、自社生産している医薬品添加剤は、速やかに増産体制を整え、お客さまのニーズに迅速・的確に応えて参ります。

また、食品品質保持剤は、海外市場の開拓にも取り組むなど積極的な営業展開を図り、売上高、営業利益ともに増加となりました。

この結果、売上高は29億71百万円(同13.5%増)、セグメント利益は5億56百万円(同32.1%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ16億41百万円減少し、174億84百万円となりました。増減の主な要因は、商品及び製品が1億2百万円増加したものの、現金及び預金が13億22百万円、仕掛品が5億25百万円減少したことによるものであります。

また、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ12億51百万円減少し、46億32百万円となりました。増減の主な要因は、電子記録債務が3億76百万円、支払手形及び買掛金が3億4百万円、前受金が5億58百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億89百万円減少し、128億52百万円となりました。増減の主な要因は、自己株式の取得により5億72百万円減少したことによるものであります。

### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ13億22百万円減少し52億45百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

#### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、減少した資金は2億30百万円(前年同期は3億75百万円の減少)となりました。これは税金等調整前四半期純利益7億5百万円、たな卸資産の減少3億38百万円、減価償却費1億62百万円等の増加要因があったものの、仕入債務の減少7億24百万円、前受金の減少5億73百万円、法人税等の支払額3億32百万円といった減少要因があったことによるものであります。

#### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、減少した資金は1億90百万円(前年同期は2億24百万円の減少)となりました。これは投資有価証券の償還による収入23百万円の増加要因があったものの、有形固定資産の取得による支出2億5百万円等の減少要因があったことによるものであります。

#### ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、減少した資金は9億18百万円(前年同期は3億68百万円の減少)となりました。これは主に自己株式取得による支出5億72百万円、配当金の支払3億43百万円があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期の業績予想につきましては、本資料の公表時点において、平成30年4月5日の決算短信で発表しました通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,568,050	5,245,781
受取手形及び売掛金	4,337,779	4,224,471
電子記録債権	113,748	152,862
商品及び製品	263,127	365,375
仕掛品	2,046,615	1,521,486
原材料及び貯蔵品	876,175	915,151
前払費用	110,520	128,504
繰延税金資産	175,959	215,993
その他	303,293	232,945
貸倒引当金	△10,737	△11,106
流動資産合計	14,784,533	12,991,466
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,187,803	1,202,510
土地	1,239,027	1,239,710
その他（純額）	943,601	1,112,122
有形固定資産合計	3,370,431	3,554,342
無形固定資産		
のれん	92,104	80,090
その他	10,351	11,162
無形固定資産合計	102,455	91,253
投資その他の資産		
繰延税金資産	20,632	25,632
その他	852,895	827,201
貸倒引当金	△5,400	△5,400
投資その他の資産合計	868,127	847,434
固定資産合計	4,341,015	4,493,030
資産合計	19,125,548	17,484,497
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,931,872	1,627,305
電子記録債務	892,011	515,524
未払法人税等	356,267	304,613
前受金	1,498,799	940,359
賞与引当金	210,727	219,611
役員賞与引当金	54,300	18,000
その他	620,933	686,822
流動負債合計	5,564,911	4,312,236
固定負債		
退職給付に係る負債	200,056	198,152
資産除去債務	34,977	35,054
その他	83,387	86,790
固定負債合計	318,421	319,998
負債合計	5,883,333	4,632,234

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,035,600	1,035,600
資本剰余金	1,289,513	1,289,513
利益剰余金	11,419,492	11,540,905
自己株式	△201,361	△773,361
株主資本合計	13,543,245	13,092,658
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,132	41,667
為替換算調整勘定	△332,254	△263,473
退職給付に係る調整累計額	△19,907	△18,589
その他の包括利益累計額合計	△301,029	△240,395
純資産合計	13,242,215	12,852,262
負債純資産合計	19,125,548	17,484,497

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	9,789,065	9,117,076
売上原価	6,317,406	6,100,966
売上総利益	3,471,658	3,016,110
販売費及び一般管理費	2,397,089	2,423,288
営業利益	1,074,568	592,821
営業外収益		
受取利息	1,376	2,006
受取配当金	4,749	63,066
受取技術料	8,625	3,673
為替差益	—	4,106
その他	10,069	19,689
営業外収益合計	24,820	92,542
営業外費用		
支払利息	895	562
為替差損	5,699	—
その他	1,094	524
営業外費用合計	7,688	1,086
経常利益	1,091,700	684,277
特別利益		
投資有価証券償還益	—	23,874
特別利益合計	—	23,874
特別損失		
固定資産除却損	69	2,184
固定資産売却損	1,918	—
特別損失合計	1,988	2,184
税金等調整前四半期純利益	1,089,711	705,967
法人税等	355,208	239,663
四半期純利益	734,503	466,303
親会社株主に帰属する四半期純利益	734,503	466,303



四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
四半期純利益	734,503	466,303
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,457	△9,465
為替換算調整勘定	△40,694	68,780
退職給付に係る調整額	1,431	1,317
その他の包括利益合計	△42,720	60,633
四半期包括利益	691,782	526,936
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	691,782	526,936

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,089,711	705,967
減価償却費	171,927	162,695
のれん償却額	—	12,013
賞与引当金の増減額(△は減少)	△28,213	8,387
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△43,400	△36,300
受取利息及び受取配当金	△6,125	△65,073
支払利息	895	562
為替差損益(△は益)	3,644	△4,495
有形固定資産売却損益(△は益)	1,918	—
投資有価証券償還損益(△は益)	—	△23,874
売上債権の増減額(△は増加)	△632,769	91,182
たな卸資産の増減額(△は増加)	△602,841	338,514
その他の資産の増減額(△は増加)	176,983	76,844
仕入債務の増減額(△は減少)	306,906	△724,487
前受金の増減額(△は減少)	△113,713	△573,452
その他の負債の増減額(△は減少)	△249,206	54,696
その他	146	△6,050
小計	75,863	17,129
利息及び配当金の受取額	6,125	65,073
利息の支払額	△895	△562
保険金の受取額	—	8,312
法人税等の還付額	4,282	12,888
法人税等の支払額	△460,530	△332,932
営業活動によるキャッシュ・フロー	△375,154	△230,091
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△228,133	△205,257
有形固定資産の売却による収入	8,079	—
無形固定資産の取得による支出	△430	△3,162
投資有価証券の取得による支出	△1,135	△3,162
投資有価証券の償還による収入	—	23,874
保険積立金の積立による支出	△2,913	△2,913
差入保証金の差入による支出	△328	△570
差入保証金の回収による収入	10	618
出資金の回収による収入	—	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△224,852	△190,562
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△24,902	△3,217
配当金の支払額	△343,374	△343,457
自己株式の取得による支出	—	△572,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△368,276	△918,675
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,066	17,059
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△982,349	△1,322,269
現金及び現金同等物の期首残高	6,982,822	6,568,050
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,000,472	5,245,781

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年4月25日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議し、普通株式500,000株を取得いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が572,000千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が773,361千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	7,171,574	2,617,490	9,789,065	—	9,789,065
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,171,574	2,617,490	9,789,065	—	9,789,065
セグメント利益	868,853	420,960	1,289,814	△215,245	1,074,568

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△215,245千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

日本(千円)	北米(千円)	中南米(千円)	欧州(千円)	その他(千円)	計(千円)
7,109,219	647,904	472,121	1,020,450	539,368	9,789,065

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的の近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 北米 ……米国、カナダ
- (2) 中南米 ……ブラジル等
- (3) 欧州 ……フランス、英国等
- (4) その他 ……アジア等

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	6,145,635	2,971,440	9,117,076	—	9,117,076
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,145,635	2,971,440	9,117,076	—	9,117,076
セグメント利益	291,444	556,298	847,743	△254,921	592,821

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△254,921千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

日本(千円)	北米(千円)	中南米(千円)	欧州(千円)	その他(千円)	計(千円)
7,090,644	673,368	335,337	172,173	845,553	9,117,076

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 北米 ……米国、カナダ
- (2) 中南米 ……ブラジル等
- (3) 欧州 ……フランス、英国等
- (4) その他 ……アジア等

### 3. その他

#### 受注及び販売の状況

##### (1) 受注高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	5,984,924	71.2	6,518,694	108.9
化成品部門	221,420	18.5	392,246	177.2
合計	6,206,344	64.6	6,910,941	111.4

(注) 1. 化成品部門のうち医薬品添加剤と食品品質保持剤は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。

2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。

3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

##### (2) 受注残高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	7,465,447	76.4	6,233,241	83.5
化成品部門	94,168	20.8	188,507	200.2
合計	7,559,615	74.0	6,421,748	84.9

(注) 1. 化成品部門のうち医薬品添加剤と食品品質保持剤は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。

2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。

3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

##### (3) 販売実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
機械部門	7,171,574	73.3	6,145,635	67.4
化成品部門	2,617,490	26.7	2,971,440	32.6
合計	9,789,065	100.0	9,117,076	100.0

(注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。

2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。